



平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年7月27日

上場会社名 東海リース 株式会社
 コード番号 9761 URL <http://www.tokai-lease.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚本 博亮
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 大西 泰史
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月9日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 06-6352-0001

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|-------|-----|------|---|------|---|------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 31年3月期第1四半期 | 3,326 | 6.1 | 28 | | 21 | | 48 | |
| 30年3月期第1四半期 | 3,135 | 8.0 | 45 | | 43 | | 64 | |

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 97百万円 (%) 30年3月期第1四半期 116百万円 (%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 31年3月期第1四半期 | 13.82 | |
| 30年3月期第1四半期 | 18.67 | |

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 31年3月期第1四半期 | 33,376 | 15,397 | 44.6 | 4,286.07 |
| 30年3月期 | 33,820 | 15,704 | 45.0 | 4,373.44 |

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 14,899百万円 30年3月期 15,203百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年3月期 | | 3.00 | | 60.00 | |
| 31年3月期 | | | | | |
| 31年3月期(予想) | | 30.00 | | 50.00 | 80.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。30年3月期の1株当たり期末配当額につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「 」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の30年3月期の1株当たり期末配当金は6円00銭となり、1株当たり年間配当金は9円00銭となります。

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|-----|------|------|------|------|-----------------|-----|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 15,200 | 1.6 | 570 | 27.4 | 540 | 16.4 | 310 | 9.4 | 89.17 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 31年3月期1Q | 3,494,322 株 | 30年3月期 | 3,494,322 株 |
| 期末自己株式数 | 31年3月期1Q | 17,990 株 | 30年3月期 | 17,923 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 31年3月期1Q | 3,476,346 株 | 30年3月期1Q | 3,477,394 株 |

(注)当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2頁「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (追加情報) | 7 |
| (セグメント情報等) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善傾向が継続し、個人消費にも改善の兆しが見られ、景気としては緩やかな回復基調となりました。しかしながら、海外においては米国による政策運営への不安や、中国をはじめとするアジア新興国の景気減速懸念など、依然として先行きが不透明な状況が続いています。

仮設建物リース業界におきましては、設備投資の下支えもあり堅調に推移しております。しかしながら、建設業界全体における労働者不足が依然として続き、また、官公庁受注工事をはじめ契約単価に下落傾向が続くなど、予断を許さない状況にあります。

このような状況のなか、当社グループは、より一層のお得意先様満足を獲得すべく、仮設建物の質・量の向上に努めるとともに、従来、外注業者にて施工していた基礎工事に替えて弊社独自にシステム開発した基礎を投入し、原価の低減と工期の短縮の推進を図っています。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,326百万円で前年同四半期比6.1%増となりましたが、従来、当社グループの売上は下期に集中する傾向があるため、通期売上予想に対する進捗は21.9%にとどまりました。一方、リース用資産減価償却費をはじめとする固定費は恒常的に発生するため、損益面につきましては、営業損失は28百万円（前年同四半期は営業損失45百万円）、経常損失は21百万円（前年同四半期は経常損失43百万円）、特別利益に仙台配送センター移転のための土地取得に伴う補助金収入10百万円、特別損失に固定資産圧縮損など15百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は48百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失64百万円）となりました。

なお、セグメントごとの業績は、日本が売上高3,305百万円（前年同四半期比6.8%増）、中国が76百万円（前年同四半期比14.4%減、セグメント間取引消去後21百万円（前年同四半期比45.1%減））となりました。また、営業損失は日本が11百万円（前年同四半期は営業損失39百万円）、中国が13百万円の営業損失（前年同四半期は2百万円の営業損失、セグメント間取引消去後は16百万円の営業損失（前年同四半期は5百万円の営業損失））となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産の部

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末より443百万円減少し、33,376百万円となりました。理由の主なものを受取手形及び売掛金の減少556百万円であります。

負債の部

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末より137百万円減少し、17,978百万円となりました。理由の主なものを支払手形及び買掛金の減少1,196百万円、電子記録債務の増加698百万円と短期借入金の増加583百万円であります。

純資産の部

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は前連結会計年度末より306百万円減少し、15,397百万円となりました。理由の主なもの配当金の支払208百万円であります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現段階におきましては、平成30年4月27日に発表しました業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績はさまざまなリスク要因や不確実な要素により、現時点での予想と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成30年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,054,514 | 1,873,728 |
| 受取手形及び売掛金 | 12,571,079 | 12,014,920 |
| 電子記録債権 | 511,181 | 610,126 |
| 商品及び製品 | 133,638 | 121,595 |
| 仕掛品 | 49,278 | 116,659 |
| 原材料及び貯蔵品 | 338,820 | 315,140 |
| 短期貸付金 | 640,470 | 626,795 |
| その他 | 437,542 | 417,527 |
| 貸倒引当金 | △50,152 | △49,209 |
| 流動資産合計 | 16,686,371 | 16,047,284 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| リース用資産（純額） | 8,320,642 | 8,485,833 |
| 建物及び構築物（純額） | 2,162,031 | 2,272,245 |
| 土地 | 5,114,304 | 5,217,470 |
| リース資産（純額） | 357,023 | 341,140 |
| 建設仮勘定 | 278,323 | 121,633 |
| その他（純額） | 236,287 | 228,043 |
| 有形固定資産合計 | 16,468,613 | 16,666,367 |
| 無形固定資産 | 220,166 | 213,113 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 163,871 | 165,095 |
| 繰延税金資産 | 108,999 | 108,309 |
| その他 | 172,180 | 176,381 |
| 投資その他の資産合計 | 445,051 | 449,785 |
| 固定資産合計 | 17,133,831 | 17,329,266 |
| 資産合計 | 33,820,203 | 33,376,550 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成30年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 2,854,634 | 1,658,634 |
| 電子記録債務 | 1,360,062 | 2,058,603 |
| 短期借入金 | 4,184,987 | 4,768,324 |
| リース債務 | 109,765 | 86,895 |
| 未払法人税等 | 149,690 | 41,356 |
| 前受リース収益 | 3,998,972 | 4,027,659 |
| 賞与引当金 | 246,052 | 169,879 |
| 役員賞与引当金 | 21,040 | 16,160 |
| 設備関係支払手形 | 120,009 | 129,880 |
| その他 | 1,094,053 | 1,377,257 |
| 流動負債合計 | 14,139,267 | 14,334,650 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 3,428,106 | 3,151,889 |
| リース債務 | 75,810 | 72,138 |
| 繰延税金負債 | 45,173 | 46,549 |
| 役員退職慰労引当金 | 90,800 | 94,025 |
| 退職給付に係る負債 | 26,637 | - |
| その他 | 310,352 | 279,723 |
| 固定負債合計 | 3,976,880 | 3,644,326 |
| 負債合計 | 18,116,147 | 17,978,976 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 8,032,668 | 8,032,668 |
| 資本剰余金 | 5,664,939 | 5,664,939 |
| 利益剰余金 | 1,209,500 | 952,863 |
| 自己株式 | △33,337 | △33,479 |
| 株主資本合計 | 14,873,771 | 14,616,992 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 46,526 | 47,276 |
| 為替換算調整勘定 | 229,413 | 188,601 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 54,120 | 46,923 |
| その他の包括利益累計額合計 | 330,060 | 282,801 |
| 非支配株主持分 | 500,223 | 497,779 |
| 純資産合計 | 15,704,055 | 15,397,574 |
| 負債純資産合計 | 33,820,203 | 33,376,550 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 3,135,102 | 3,326,765 |
| 売上原価 | 2,623,029 | 2,796,285 |
| 売上総利益 | 512,072 | 530,480 |
| 販売費及び一般管理費 | 557,430 | 558,591 |
| 営業損失(△) | △45,357 | △28,110 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 9,083 | 10,498 |
| スクラップ売却益 | 3,650 | 2,278 |
| 為替差益 | 904 | 4,406 |
| その他 | 4,837 | 6,571 |
| 営業外収益合計 | 18,476 | 23,755 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 12,617 | 10,934 |
| その他 | 4,060 | 6,262 |
| 営業外費用合計 | 16,678 | 17,197 |
| 経常損失(△) | △43,559 | △21,552 |
| 特別利益 | | |
| 補助金収入 | - | 10,000 |
| 特別利益合計 | - | 10,000 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | - | 4,925 |
| 固定資産売却損 | 27 | 294 |
| 固定資産圧縮損 | - | 10,000 |
| 特別損失合計 | 27 | 15,220 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △43,586 | △26,773 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 17,063 | 16,769 |
| 法人税等調整額 | 1,874 | 1,757 |
| 法人税等合計 | 18,938 | 18,527 |
| 四半期純損失(△) | △62,525 | △45,300 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 2,413 | 2,752 |
| 親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △64,938 | △48,053 |

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純損失(△) | △62,525 | △45,300 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 4,559 | 737 |
| 為替換算調整勘定 | △56,251 | △45,994 |
| 退職給付に係る調整額 | △2,314 | △7,197 |
| その他の包括利益合計 | △54,007 | △52,455 |
| 四半期包括利益 | △116,532 | △97,755 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △112,619 | △95,312 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △3,912 | △2,443 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期連結会計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

| | 報告セグメント | | | 調整額 (千円) | 四半期連結損益 計算書計上額 (千円) |
|-----------------------|------------|------------|-----------|-------------|---------------------------|
| | 日本 (千円) | 中国 (千円) | 計 (千円) | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,095,652 | 39,449 | 3,135,102 | — | 3,135,102 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 70 | 49,458 | 49,528 | △49,528 | — |
| 計 | 3,095,722 | 88,907 | 3,184,630 | △49,528 | 3,135,102 |
| セグメント損失(△) | △39,993 | △2,981 | △42,974 | △2,382 | △45,357 |

(注) 1 調整額はセグメント間取引消去であります。

2 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

| | 報告セグメント | | | 調整額 (千円) | 四半期連結損益 計算書計上額 (千円) |
|-----------------------|------------|------------|-----------|-------------|---------------------------|
| | 日本 (千円) | 中国 (千円) | 計 (千円) | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,305,123 | 21,642 | 3,326,765 | — | 3,326,765 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 37 | 54,496 | 54,534 | △54,534 | — |
| 計 | 3,305,161 | 76,139 | 3,381,300 | △54,534 | 3,326,765 |
| セグメント損失(△) | △11,486 | △13,564 | 25,051 | △3,059 | △28,110 |

(注) 1 調整額はセグメント間取引消去であります。

2 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。